

## ボバース関東ブロック小児領域講習会レポート

平成 29 年 12 月 2 日(土)、「ボバース関東ブロック小児領域講習会」が開催されました。例年当院で開催されている講習会ですが、今回は杉並区こども発達センターからの依頼があり、当院スタッフが出張して行いました。

今回は「重症心身障害児の姿勢制御とポジショニング」というテーマで、杉並区こども発達センターのスタッフ 8 名を含む 28 名の受講者で行われました。例年では PT・OT がほとんどの講習会ですが、今回は ST が 4 名、心理のスタッフが 1 名参加されました。

午前中に講義と、杉並区こども発達センターに通われているお子さんのセラピー場面のデモンストレーションが行われました。グループに分かれ、デモンストレーション場面のクリニカルリーディングを行い、午後はハンドリングやポジショニングの練習を行いました。

講習会終了後にいただいたアンケートでの受講生の声を一部紹介させていただきます。

- ・ポジショニングのポイントが再確認できた、大切なポイントが分かりやすかった。
- ・姿勢制御について神経の流れが分かり易かった
- ・ポジショニングは床と空間にクッションを詰めるわけではなく本人の感覚をきちんと入力できる、そして表出していけることの大切さを再確認できた。
- ・午前の講義の話を踏まえてデモを見ることが出来、頭の中で内容がつながり易かった。
- ・デモを見ることは多く学べて、楽しみである。PT=姿勢・運動ではなく人として発達する大切さを今回も感じる事が出来た。
- ・ボディースキーマ、コアコントロール、CHOR など講義とつながっていて理解が進んだ。
- ・体幹と末梢のつながり、アクティブな活動の大切さを改めて勉強できた。
- ・ポジショニング体験は初めてでした。側臥位での姿勢評価をもっと丁寧に行わなければと思った。
- ・もう一度復習する。職場で伝達したいと思う。
- ・直ぐに役立てたい。枕の高さで呼吸が変わる、ロールの入れ方で上肢の使いやすさが変わることが実感できてよかった。
- ・ただリラクゼーションするだけでなく学習を促すための促通、ポジショニングをしなくてはならない。タオルを用いたポジショニングは実践しやすそう。
- ・ポジショニング=安定ではなく、胸郭の運動を引き出す→コアが働く→姿勢が安定するという事を学んだ。
- ・ハンドリングで手の硬さを感じた。講義・デモ・実技があり充実している。

当院では毎年各種講習会を開催しております。このレポートを読んで興味を持たれた方はぜひ次の機会に受講していただけたらと思います。スタッフ一同お待ちしております。